

<p>学校教育目標 「自ら学び、豊かな心を持ち、たくましく生きる子どもを育てる」</p>		
<p>期待する子ども像</p>	<p>よく考え進んで学ぶ子                  きまりを守りがんばる子                  なかよく元気に遊ぶ子</p>	<p>(・筋道を立てて、よく考える子ども                  ・きまりを守り、今、何をするか考えて行動する子ども                  ・思いやりの心を持ち、認め合い支え合う子ども                  ・自ら課題を見つけ、進んで学ぶ子ども                  ・最後まで、粘り強くやりぬく子ども                  ・心も体も元気で、よく遊ぶ子ども)</p>

目指す学校像(ビジョン)

に んじんスクール原、し ぜんと資源を生かす原、は つらつ元気に学び合う原、ら イフワークへの道を開く

基礎・基本の学力の確実な定着を図る学校  
 自分や友達、自然を大切に、心豊かで思いやりのある子どもを育成する学校  
 地域に学び、地域の教育力を活用し、保護者・地域のニーズにこたえる学校

一人一人の個性や可能性を伸ばし、自己教育力を育成する学校  
 学習に直結し、情操豊かな心情を培う教育環境を整備する学校  
 教職員が絶えず研修に努め、分かる授業・学ぶ喜びのある授業を創造する学校

領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策
学力の向上	綿密な計画に基づいて日々の授業を充実させ、指導と一体となった評価を行い、「分かる授業」「学ぶ喜びのある授業」を創造する。	分かる授業と適正な評価を進めるために教材・教員の充実を図り、評価方法を明確にし、信頼される評価を行う。	各教科、教科主任を中心に教材、教具などの整備と活用を図る。  評価方法と基準の見直し、改善を図る。 (評価基準を学期の初めに準備する。)
	指導方法の工夫改善に努め、基礎・基本の学力の定着を図るとともに、児童の学習意欲を喚起し、個性の伸張に努める。	思考力・判断力・表現力を育てる算数科の授業を創造する。  児童の教育的ニーズに応じた個別の学習支援・指導を実践する。	基礎的な知識・技能の定着を図るための指導を行う。  算数科について講師を招聘し、全体研修会を行い、全員が年1回以上の研究授業を実施し、児童の思考力・判断力・表現力の育成を図る。  配慮を要する児童へ有効な教材・教具・声のかけ方などの工夫改善に努める。
	カリキュラム開発に努め、自ら課題をみつけ、学び、問題を解決する力の育成を図る。	各教科で児童の実態を考慮した指導計画を立て、整備・修正する。	帯時間を使った算数科の効果的な取り組み方を模索する。  年間指導計画を毎学期、各学年、各教科で見直しと修正を行う。
豊かな人間性の育成	道徳教育や体験活動、かかわり活動の充実を図り、心豊かで思いやりのある子どもを育成する。	みんなのために進んで取り組める子どもを育てる。	具体的な方法を知らせ、みんなのためになることを行う。 (校内ごみ拾い、親切行為など)
		日常生活の中で場に応じたあいさつのできる子どもを育てる。	委員会活動及び学年・学級で挨拶運動を行う。また、入室時の挨拶の仕方などを具体的に指導し習慣化を図る。
		異学年交流を通して、子どもたち同士のかかわりを育てる。	学校行事等を意図的に計画して、異学年交流を行う。(遠足、はらっ子ふれあいパーク、朝会など)
		心に響く「道徳の時間」について実践研究を行う。	心に響く道徳の時間にするために指導展開を工夫する。
		総合的な学習の時間、生活科などの学習を通して温かい人間関係を育む。	総合的な学習の時間、生活科などの学習で地域の人、高齢者、障害者、幼児、他の国の人との交流を通して温かい人間関係を育む。
		配慮を要する児童の実態や支援の在り方について、校内で共通理解する。	校内体制を機能させて、配慮を要する児童について共通理解を図る。
まちぐるみによる教育の推進	保護者・地域との連携を深め、「信頼される学校づくり」「開かれた学校づくり」「特色ある学校づくり」に努める。	学校だより、学年だより、学級だよりなどを定期的に発行する。	学校、学年、学級の様子が分かる通信を発行する。〔学校、学年、学級、専科(音楽、家庭、算数)、保健、給食、図書〕
		ホームページより、定期的に情報を発信し、内容の充実を図る。	学年ホームページを作成し、月に1回以上更新する。
		保護者、地域の方々などに学校を公開する。	地域の教育力(スペシャリスト)を学習活動に計画的に生かす。
		保護者、地域の方々への対応を早くする。	対応マニュアルにもとづき、迅速かつ丁寧な対応を行う。
体力づくりの推進	体力向上の計画的な取り組みを推進し、体力を向上させる。	健康に関する指導を充実させる。	食べ物の大切さと正しい食生活の習慣化のために食に関する指導を行う。  体力づくりの習慣化のために外遊びを奨励する。
		児童の実態を把握し、体力づくりの計画を立て推進する。	新体力テストを実施し、分析した結果を体育の授業の中で生かし、計画的に体力づくりを行う。  「わたしたちの体育」を効果的に使用する。